

2022年7月26日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 樋口達夫
 (コード番号: 4578 東証プライム)
 問合せ先 IR部長 小暮雄二
 (TEL 03-6361-7411)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月10日及び2022年5月13日に公表しました2022年12月期第2四半期累計期間（2022年1月1日～6月30日）の連結業績予想を、下記のとおり修正します。

記

2022年12月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値の修正

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属 する四半期利益	基本的1株 当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	767,000	111,000	112,500	112,000	87,500	86,000	158.55
今回修正予想(B)	814,000	78,000	67,000	92,800	71,500	69,800	128.50
増減額(B-A)	47,000	▲33,000	▲45,500	▲19,200	▲16,000	▲16,200	
増減率(%)	6.1%	▲29.7%	▲40.4%	▲17.1%	▲18.3%	▲18.8%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2 四半期)	718,815	104,271	111,169	119,207	93,700	91,407	167.68

修正の理由

当第2四半期累計期間において、医療関連事業におけるグローバル4製品（「エビリファイ メンテナ」、
「レキサルティ」、「ジンアーク」、「ロンサーフ」）およびニュートラシューティカルズ関連事業が牽引し、連結売上収益は、円安の影響を除いても計画以上に進捗しています。

一方、急激な円安による医療関連事業における棚卸資産の未実現利益消去に係る影響が約200億円となり売上原価の大幅な増加が見込まれます。また、当社の持分法適用会社であった Cullinan Pearl Corp. を完全子会社化したことに伴い、既に所有していた株式の評価益を約100億円計上する見込みであるものの、当第1四半期に計上した腎性貧血治療薬 バダデュスタット等に係る減損損失238億円に加え、当第2四半期に Akebia Therapeutics, Inc.（以下、アケビア社）との契約終了に伴う経費を含む一過性費用を約70億円計上することを見込んでいます。その結果、事業利益、営業利益、四半期利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。なお、アケビア社への支払いは契約終了に伴い以降は発生しません。

2022年12月期の連結業績予想につきましては、2022年7月29日の決算発表時にお知らせする予定です。

(注) 上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

以上